

📄 制度の概要

東京都は、エネルギーの安定供給確保や**脱炭素化に向けた取組**として、都内における水素エネルギーの需要拡大・早期社会実装化を目指しています。

走行距離が長い商用車両での水素活用は、運輸部門の脱炭素化と水素需要の拡大のために重要であり、**FCバスの更なる普及促進**に向けて車両導入や燃料費支援を拡充する制度です。

🔧 支援内容

❑ 基本補助

国補助等と合わせディーゼル車両と同額で導入可能

最大5,000万円

❑ 上乗せ補助

5年間で5台以上純増計画または水素ステーション整備等

最大2,000万円

❑ 燃料費支援

水素燃料費実費と軽油相当額との差額を支援（別途、水素ステーションを通して実施）

上限額詳細別途公表

🎯 対象となる取組

【助成対象バスの要件】

- ❑ 令和3年5月24日～令和13年3月31日初度登録
- ❑ 使用の本拠の位置の住所が都内にあること
- ❑ 国等の補助金交付を申請していること

【上乗せ補助の条件】

- ❑ 5年間でFC商用車を5台以上純増させる計画
- ❑ 都内営業所等に水素ステーション整備・誘致
- ❑ グリーン経営認証またはISO14001取得

👥 対象者

- ❑ **民間企業**（リース事業者を含む）
- ❑ 地方公共団体
- ❑ 独立行政法人
- ❑ 一般・公益社団法人及び財団法人
- ❑ 法律により直接設立された法人
- ❑ その他知事が認める者

💡 採択率向上のポイント

- ❑ **事前相談の実施**：クール・ネット東京での詳細確認が重要
- ❑ **国補助との連携**：**国等補助金申請**が前提条件
- ❑ **計画の具体性**：5台以上導入計画の実現可能性を明示
- ❑ **水素インフラ連携**：ステーション整備・誘致による相乗効果

📊 戦略的分析

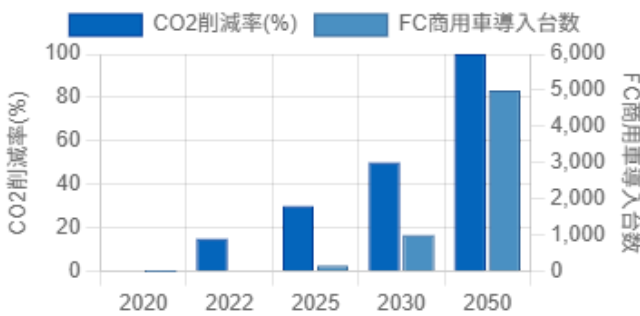
【補助額最大化戦略】

- ❑ **基本補助5,000万円**は必須取得
- ❑ 上乗せ補助で**最大7,000万円**まで拡大可能
- ❑ 燃料費支援は**別途実施**で運用コスト削減

【段階的導入戦略】

- ❑ **初回1台導入**でノウハウ蓄積
- ❑ 5年計画策定で**上乗せ補助**確保
- ❑ 水素ステーション連携で**総合的優位性**構築

📈 東京都脱炭素化目標



2030年目標：都内CO2排出量50%削減（2000年比）

FC商用車普及：運輸部門脱炭素化の重要施策

🚐 FCバス活用分野

活用分野	導入効果
路線バス	長距離運行での環境負荷削減
空港連絡バス	観光地での脱炭素アピール効果
企業送迎バス	CSR向上と従業員満足度向上
コミュニティバス	地域住民の環境意識向上
観光バス	持続可能な観光の実現

👤 専門家活用のススメ

- ❑ **環境コンサルタント**：脱炭素計画策定支援
- ❑ **補助金申請専門家**：国補助との連携調整
- ❑ **自動車業界専門家**：車両選定とメンテナンス計画
- ❑ **水素インフラ専門家**：ステーション整備計画立案

📁 必要書類とチェックポイント

*このレポートは生成AIにて作成されています【2025/9/12作成】

提出書類	チェックポイント
申請フォーム	❑ Grafferシステムでの入力必須 ❑ 車両仕様と導入計画を詳細記載
国補助関連書類	❑ 国補助申請書類の写し ❑ 補助額確定通知書（実績報告時）
車両関連書類	❑ 自動車検査証（車検証）の写し ❑ 車両本体価格の見積書
リース関連書類	❑ 貸与料金の算定根拠明細書 ❑ リース契約書の写し

📅 申請スケジュール

- 📍 **事前準備期間**
車両選定・導入計画策定に3～6ヶ月。
国補助申請との同時進行が重要。
- 📍 **申請期間**
令和7年4月25日～令和8年3月31日
オンライン：17:00まで
郵送：必着
- 📍 **審査期間**
申請受付後3～4ヶ月程度
- 📍 **助成金振込**
審査完了・不備なしの場合
- 📍 **実績報告**
国補助確定通知受領から30日以内
その他必要手続きあり

⚠️ 補足事項

- ❑ 燃料電池バス（中古車を除く）が対象
- ❑ 旅客自動車運送事業の運営装備類費用は対象外

❓ 問い合わせ

制度詳細	https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/fc-bus-2
事業全般	産業労働局産業・エネルギー政策部新エネルギー推進課 TEL：03-5320-7782（直通）
申請関連	東京都地球温暖化防止活動推進センター（クール・ネット東京）モビリティチーム TEL：03-5990-5068 受付時間：平日9:00～17:00（12:00～13:00除く）